

西本願寺の日曜レクチャー

申込不要

入場無料

日曜講演

8月20日(日)

午前10時30分～11時30分

場所

本願寺北境内
間法会館1階 総会所

講演:ふたり仏まわし「親鸞」

「仏まわし」は、かつて日本にいたとされる幻の傀儡師。その昔、京の都から仏の教えをひろめるために全国各地を巡ったとされています。豊富な人形劇経験と、様々な文献研究をもとに、現代の人形つかいが「仏まわし」を語り、上演いたします。90年に及ぶ、親鸞聖人のご生涯を人形劇にしたもので、子どもから大人まで楽しめます。



講師(演者)
かたみ えいめい
湯見 英明

1948年、京都生まれ。1971年に「人形劇・トロッコ」を創出し、50年以上、世界16カ国100万人以上の子どもたちにファンタジーを届けている。人形劇研究者として「人形劇の図書館」を運営し、京都女子大学等で「児童文化活動論」の講師も務めた。数々の国際人形劇フェスをプロデュースするほか、国立劇場アーカイブ『民俗芸能・人形芝居』監修、『人形劇図書資料目録』刊行、『日本人形玩具大辞典』編集委員も務めた。



講師(演者)
さとう じしょう
佐藤 譲

1986年、福岡生まれ、京都育ち。2010年にスタジオオジブリ入社後、編集者として働く。2015年から、日本テレビに入社し、実写映画・アニメーション映画のプロデューサーを務める。ゲームベンチャーの立ち上げに関わったのち、2018年よりフリーランスとして京都で活動をスタート。2019年から湯見英明氏に師事し、現在は「人形つかいソバ」として、子どもたちを中心に人形劇を届けている。『ハンケイ5m』にてエッセイを連載中。

現代の人形つかいが「仏まわし」とは何かを語り、蘇らせませす！
親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年を記念して、

幻の傀儡師と親鸞

まぼろし

く

ぐつ

し

しん

らん

